

清水港新興津地区整備計画

質問 清水港における交流の拠点である日の出地区や江尻地区と興津地区との周遊性を確保し、相乗的に各地区の魅力を高める考えはないか。

答弁 日の出、江尻地区は、本市観光エリアの中で最も観光客数が多い。

また、興津地区では、国道1号バイパスをまたぐ海上に「新興津地区」として、県が人工海浜や緑地、小型船だまりを、市が清水港海づり公園を整備することで、興津地区全体へにぎわいが波及する期待が高まっている。

各地区の陸海アクセスによる周遊性を確保し相乗的に魅力を高めることで、ウォーターフロントの交流人口を拡大させ、新時代にふさわしい国際海洋文化都市を目指す。



野球熱醸成に向けたイベント

質問 市民の野球熱醸成に向け、昨年までの3年間、草薙球場で開催されたプロ野球合同トライアウトから得られた成果と今後の野球イベントの実施予定を問う。

答弁 トライアウトでは、市内外から毎年5千人超の来場者を集め、多くのメディアを通じ本市の取組を全国にアピールできたことで、市民の野球熱の醸成とMICEの推進を図るとともに、日本野球機構などとの関係を築くことができた。

今後もプロの技、スピード、パワーを身近に見られる機会を提供できるよう継続的に新たな野球イベントの誘致に努めていく。

なお、平成29年には、若手プロ野球選手による「プロ野球フレッシュオールスターゲーム2017」を草薙球場で初開催する予定である。

安倍口団地地域居住機能再生計画

質問 良質な住宅を供給するため、安倍口団地地域居住機能再生計画に基づき、どのような事業を進めていくのか。

答弁 計画に基づき、①外壁や屋上防水の改修などによる建物の長寿命化、②給排水管の改修や汚水処理場の建替えなどによる設備の長寿命化、③老朽化が著しい10棟の解体などによる管理戸数の適正化などを進めている。具体的には、27年度に2棟の解体工事を実施し、28年度は2棟の給排水管の改修工事に着手した。

今後は、解体予定2棟の入居者の移転交渉を早期に完了させるとともに、地元自治会や周辺地域の皆さんと防犯対策や工事の安全対策などを協議しながら安心と潤いのある住環境の整備に努めていく。

鯨ヶ池の公園整備

質問 鯨ヶ池を中心とした公園の整備に取り組む考えはあるか。

答弁 静岡市みどりの基本計画では、鯨ヶ池の将来像を、市街地に近接し、休息や自然観察などが楽しめる「緑と水辺と歴史の拠点」としている。

これまで鯨ヶ池周辺では散策や魚釣りのために、賤機山への遊歩道や、駐車場、トイレの整備を行ってきたが、第二東名の新インターチェンジ開設により来訪者の増加が見込まれることから、鯨ヶ池を核とした公園整備の必要性が高まっていると認識している。

今後は関係部局、地域の皆さんと連携し、市内大規模公園事業の整備スケジュールとの調整を図り、公園整備の具体化に向け、取り組んでいく。

ラグビーワールドカップ2019

質問 ラグビーワールドカップ2019の公認チームキャンプの誘致をどう考えるか。

答弁 本市は、交通アクセス等の立地面や温暖な気候による体調管理面の優位性からキャンプ地として最適な環境にある。また、スポーツを活かしたMICEの推進として、キャンプを通じた受入国との新たな交流事業や交流人口の拡大が期待される。さらに、海外から訪れるラグビーファンによる経済波及効果が期待できる。以上の理由から、公認チームキャンプ地誘致の応募を決めた。

なお、キャンプ候補施設として、市が所有する清水ナショナルトレーニングセンターは条件を満たさないため、県の協力を得て、県営草薙総合運動場を候補地として申請するよう準備を進めている。

林道東俣線への路線バス

質問 南アルプスへの観光客等の増加には、交通アクセス整備が課題である。現在、山小屋の管理主体が宿泊者を対象に、林道東俣線で運行している無料の自主送迎バスに代わり、路線バスを運行させるとした場合の課題は何か。

答弁 東俣線は、延長約27キロメートルと南アルプスユネスコエコパークの区域内で最も長い林道で、現状では、急峻な地形と脆弱な地質により、落石、崩土、路肩決壊等が発生しやすく、危険箇所が多い。そのため、路線バスを運行させるには、通行の安全の観点から、一般市道並みのガードレールやカーブミラーなどの安全施設を備える必要がある。

なお、路線バスの運行には、道路運送法に基づく国の許可などが必要となる。

語句説明

静岡市みどりの基本計画

みどり豊かで快適な都市を形成していくことを目指し、みどりの保全及び緑化の推進に関する施策や取組を示す計画。

語句説明

ユネスコエコパーク

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が認定する自然保護と持続可能な利用を考え、自然と人間とのお互いの関係の構築を目指した地域のこと。

南アルプスユネスコエコパークは、南アルプスの山々とその麓の地域で構成され、本市では、井川地区が含まれる。

テニスコートの利用料金

質問 気軽にスポーツできる環境を整備するため、テニスコートの利用料金体系に、生徒等の区分を新設してはどうか。

答弁 サッカー場や野球場などの施設は、民間によるサービスが提供されにくいと、負担力の低い生徒等に配慮して、一般と生徒等に区分した料金設定をしている。一方、テニスコートは、民間施設があり、それと比較して安価な料金としているため、現在、生徒等の料金区分はない。

テニスコートにおける生徒等の利用料金の新設は、他のスポーツ施設の料金体系と整合が図られるとともに、生徒等が気軽にテニスを始めることがスポーツの振興につながると考えられるため、今後の料金体系の見直しの中で実現に向け検討していく。

適切なマンション管理に向けて

質問 マンションの適切な管理や良好なコミュニティの形成を支援する民間組織に対して、市として協力することはできるか。

答弁 マンションの適正な維持管理を着実に進めていくためには、行政、市民、事業者などによる官民連携が重要だと認識している。

静岡県マンション管理士会から、平成29年4月の民間組織設立に向け準備を進めていると聞いているが、現在まで具体的内容は示されていない。

設立される組織の構成や目的、活動内容などが本市の施策に沿うものであれば、協力していきたいと考えている。

生活困窮者自立支援制度

質問 一時生活支援事業と就労支援の一体的実施についてどのように考えているか。

答弁 本市では、就労支援として、暮らししごと相談支援センターでの個別相談や就労体験・職業訓練事業、各区福祉事務所ジョブサポートコーナーでの職業紹介など、相談者に寄り添った手厚い支援を実施してきた。

一方、一時生活支援事業は、自立相談支援を実施する中で、住居を失った方への支援が課題となり、28年度から始めたものである。

両支援の一体的実施について、規則的な日常生活により生活のリズムを整えた上で就労支援を行うことは、自立支援の観点から効果的と考える。このことから、一時生活支援事業と就労支援の実績や関連性の検証とともに、実現性を含め調査・研究していきたい。

語句説明

一時生活支援事業

様々な理由により住居を失った生活困窮者に対して、一定期間(本市では最長3月間)、無料で宿泊場所を提供し、この間に自立を促す事業。